

検討の背景

- 明石駅南地区再開発の動向
- 再開発ビルの公共施設として「図書館」の要望が最も希望があった。
- 明石市立図書館(本館)の老朽化
- 本館開館当時から大きく変化した社会環境への対応が不十分、狭いことが問題

現状の課題

- [図書館資料に関する課題]
- 蔵書の充実
 - 明石の歴史、文化、産業等に関する蔵書の充実
 - バランス良い蔵書構成
 - 他機関・施設との相互貸借運用
 - 時代のニーズに対応した資料整備
- [施設・設備に関する課題]
- 明石市立図書館、施設・設備の老朽化への対応
 - ユニバーサルデザインへの配慮
 - 図書館であることがわかる工夫と移動経路の明確化
 - ICT(情報通信技術)設備の導入
 - 滞在型図書館への対応
 - 児童書エリアにおける対応
 - みなくる移転に伴う役割分担
- [図書館職員に関する課題]
- 図書館に精通した職員の確保
 - 効率的な運営
- [利用者に関する課題]
- 明石市の中央図書館としてのサービス提供
 - 駅前に立地する図書館として増加する利用者を想定したサービス提供
 - ボランティア団体、地域活動団体の課題解決拠点

基本理念

人とまちを支える情報拠点「市民図書館」
～共に歩み、共に成長を続ける～

基本方針、基本方針を実現する機能・サービス

市民の生涯学習を支え、
一人ひとりに役立つ情報を提供する図書館

- 全市民が利用しやすいサービスの提供
- 学びと課題解決を支援するサービスの充実
- サービスを支える人材育成
- 利用者の安全と利便性の向上
- 関係機関や民間事業者との連携

青少年や子どもの健やかな成長を応援し、
導く図書館

- 子どもと保護者が安心して過ごせるサービスの提供
- 青少年と子どもの育ちをリードするサービスの提供
- 青少年や子どもが本にふれあい、本に親しむ環境の構築
- 青少年や子ども・保護者に対する情報の発信

明石の歴史・文化を理解し、
愛着や誇りを育む図書館

- ふるさと資料室の充実
- 歴史・文化や地域資源に対する情報の発信
- 国際化への対応

地域を支え、協働のまちづくりを進める図書館

- 地域の課題解決の支援
- ボランティア、地域活動団体との連携・支援
- 地域産業の支援
- 行政支援

「つどい ふれあい いこい」の場となる図書館

- 滞在型図書館機能の充実
- 駅前拠点としての集客性の向上

(仮称)市民図書館を核としたまちづくり

図書館を中心に家庭・地域、学校へとネットワークを構築し文化の醸成を図る

家庭・地域における取組

- 各年代(赤ちゃん、乳幼児、小学生、中学生)向けブックリストの配布
- 身近に本のある環境拡大(こども夢文庫、家庭文庫、地域文庫等)
- 読み聞かせボランティアの育成

学校園等における取組

- 「学校図書館図書標準」に示された蔵書冊数の維持と、蔵書内容の充実
- ブックママや職員配置等による読書活動の支援
- 学校図書館の地域開放
- 公共図書館との連携による図書を活用した授業の展開

明石駅前再開発ビル全館図書館プラン

ビル全体が本の香り文化の香りがする空間の創出

フロア構成	各フロアとの連携イメージ
5階:(仮称)ワンストップ窓	行政の本棚(業務に関連する図書の貸出)
4～5階:(仮称)こども健やかひろば	乳幼児向け本のコーナー設置 健診向け本のコーナー設置 本の予約検索機能設置
1～3階:飲食店	店にマッチした本のコーナー設置 共用ゾーンに本のコーナー設置 各飲食店のお勧めの本を展示
2階:(仮称)イベント広場	図書館の予約貸出・返却コーナー 新刊紹介・展示コーナー(電子看板も活用) 本へ誘うイベント開催

今後の検討課題

- 詳細なニーズ把握(市民アンケート調査)
- 資料収集のあり方
- 再開発ビル内の他施設との連携のあり方
- 他機関との連携のあり方
- 管理運営のあり方
- 整備及び運営上の留意点
- その他、今後検討するべき事項